

鹿の首に、矢！ 悪質ないたずら発生

2018年6月13日午前11時ごろ、「首に、白い矢のようなものが刺さっている鹿がいる」との通報がありました。

愛護会スタッフが現場へ急行、その後、メス鹿（推定4才）を発見し保護しました。
保護施設「鹿苑」へ収容し、獣医師が治療をおこないました。
この鹿はお母さん鹿で、発見時は近くに寄りそう子鹿の姿もありました。

子鹿のためにも、このお母さん鹿が元気になって早く奈良公園へ戻れるように、と全国の皆様から心配と応援の声をたくさん頂きました。幸い、傷は浅く、翌朝に奈良公園に戻ることができました。

子鹿ともすぐに再会でき、春日大社参道で仲良く過ごす姿を確認してスタッフ一同ほっと胸をなで下ろしました。
ご心配くださった皆様、ありがとうございました。



▲無事に再会できた母鹿と子鹿

すぐに知らせてください！ 鹿のSOS通報！

奈良公園で鹿の異変に気づいたら些細なことでもすぐに奈良の鹿愛護会にお知らせください。

「奈良のシカ」緊急ダイヤル

奈良の鹿愛護会(8:30～17:15)

0742-22-2388

奈良警察署（夜間・交通事故）

0742-20-0110

携帯電話に登録をお願いします！

毎日、スタッフが鹿の生息地を巡回ハートロールしていますが、少ないスタッフで全てを見回るのは困難です。

皆様からの迅速な通報が、鹿たちの命を守るための大切な情報源になります。

弱っている鹿・交通事故・ケガをした鹿などの情報をお寄せください。

【通報時にお知らせください】

- ・鹿がいる場所？
- 《例》目印となる建物など
- ・どんな状況か？
- 《例》左前脚がブラブラ
- 交通事故を目撃した
- ぐったりして動かない
- ・どんな鹿か？
- 《例》大きいオス鹿、小さい鹿

公式WEBサイト 全面リニューアル！

奈良の鹿愛護会の公式WEBサイトが、内容・デザイン共に全面リニューアルしました。

より見やすく、詳しく「奈良のシカ」やイベント情報、愛護会の活動についてご紹介しています。

ぜひご覧頂き、皆様の感想やご意見をお聞かせ頂ければ幸いです。

公式WEBサイト
www.naradeer.com

奈良の鹿 検索

▲WEBサイトのアドレスは変更ありません。

公式SNSも

ご覧ください！

奈良の鹿愛護会
Facebookページ
@naradeerlove

奈良の鹿愛護会
公式Twitter
@nara_aigokai

公式WEBサイト・スタッフブログのほか、愛護会スタッフが更新するSNS（フェイスブック・ツイッター）もぜひご覧ください。

奈良の鹿愛護会 新規会員様募集中！

一般財団法人奈良の鹿愛護会では、国の天然記念物「奈良のシカ」保護育成活動に取り組んでおり、その活動はご支援いただいている皆様からの会費やご寄付によって支えられています。

会員様には各種特典もご利用いただけます。ぜひご入会ください。

◆奈良の鹿愛護会会員

※年度毎の更新、4月～翌年3月

賛助会員 年会費

- ・個人 1口 3千円（1口以上）
- ・法人 1口 5千円（1口以上）

会員特典

- ・子鹿公開 赤ちゃん鹿大集合！
- ・入場無料（同伴1名様まで）
- ・鹿の角きり行事
- ・入場無料（同伴1名様まで）
- ・特典対象施設
- ・割引入場（会員ご本人様のみ）

※特典対象施設の詳細につきましては、会員証／入会のご案内をご覧ください。

詳しくは、奈良の鹿愛護会事務局へお問い合わせください。
（ホームページお問い合わせフォームからも「入会のご案内」をご請求いただけます。）

牧草協賛金とご寄付の ご協力をお願いします！

◆牧草協賛金

鹿苑に保護されている鹿たちの工サ代としてのご寄付です。

1口 1,000円／のご協力をお願い致します。

◆一般寄付金

奈良の鹿愛護会による「奈良のシカ」保護育成活動に活用させていただきます。

振込先情報

ゆうちょ銀行
口座番号

010404092260

一般財団法人奈良の鹿愛護会

※通信欄に「牧草協賛金」／「一般寄付」とご記入ください。

奈良公園観光地域活性化基金

奈良県が運営する「奈良公園観光地域活性化基金」では、貴重な文化財である「奈良のシカ」を後世に繋いでいくため「天然記念物「奈良のシカ」の保護育成」が助成対象事業に登録されています。

この基金を通じてのご寄付は、鹿の保護活動全般に活用させていただきます。

詳しくは「奈良公園観光地域活性化基金」基金のサイトをご覧ください。



基金サイトのQRコード



題字：会長 大川靖則

2018年 秋・冬号

一般財団法人 奈良の鹿愛護会

〒630-8212

奈良市春日野町160番地1

TEL：0742-22-2388

メール：info@naradeer.com

公式WEBサイト

www.naradeer.com



奈良の鹿

検索

古都奈良の秋を彩る伝統行事

鹿の角きり

「鹿の角きり」は、江戸時代から今日まで約340年にわたり、鹿と奈良の人々との共生の中で受け継がれている伝統行事です。

秋に発情期を迎えるどい角をもつオス鹿は、気が荒くたいへん危険です。

そこで、オス鹿たちの角により人や鹿がケガをしたり樹木が傷ついたりするのを防ぐため、奈良では「鹿の角きり」が行われてきました。

立派な角をもつオス鹿たちと、勇壮な勢子たちとの真剣勝負をぜひご覧ください。



◆伝統行事「鹿の角きり」



期間

2018年10月6日（土）～8日（月祝）

時間

12時～15時（最終入場14時30分）

※30分毎入替制

場所

鹿苑 角きり場

料金

一般（中学生以上） 千円
こども（小学生） 五百円

愛護会会員は同伴1名まで無料

※小雨決行・荒天中止

観光キャンペーン

鹿寄せのご案内

ナチュラルホルンの音色で鹿を呼び寄せる「鹿寄せ」。

どなたでも無料で観覧いただける観光キャンペーンの日程です。

◆奈良の冬景～鹿寄せ

開催日（1日1回のみ・小雨決行荒天中止）

2018年12月1日（土）～12月14日（金）

※9日を除く

時間 午前10時開始（15分程度）

主催 奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合奈良支部

◆奈良大和路キャンペーン鹿寄せ

開催日（1日1回のみ・雨天決行荒天中止）

2019年2月9日（土）～3月13日（水）

※毎月曜日休

時間 午前10時開始（15分程度）

主催 奈良市・公益社団法人奈良市観光協会

場所 春日大社境内「飛火野」

JR・近鉄奈良駅↓市内循環バス「春日大社参道」下車すぐ



▲奈良でしか見られない、のどかな光景。ご予約不要・無料です。

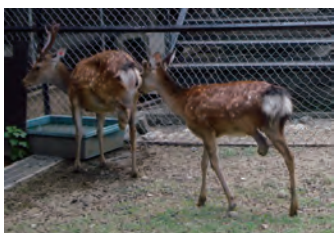


地図QRコード

スタッフコラム

ドライバーの皆さんへ

鹿苑には、このように脚のない鹿が何頭か保護されています。この鹿たちは、交通事故で脚を失いました。



▲脚を失った鹿は鹿苑で一生過ごす

こちらの鹿は、脚に包帯を巻いています。このケガも交通事故によるものです。



▲左前脚に青い包帯を巻いて治療中

中には運悪く、交通事故が原因で死んでしまうケースもあります。今年の春生まれの鹿たちの中にも、交通事故に遭遇して起き上がる事ができなくなった子鹿がいました。鹿苑で懸命に治療しましたが、残念ながら亡くなってしまいました。



▲骨折で治療中の子鹿と。だいぶ元気になりました。

【担当】獣医師 丸子

【奈良公園内でシカが交通事故に遭遇しやすい場所】

- ・県庁前の道路
- ・国道169号線（県庁東・福智院）
- ・大仏殿交差点～高畑交差点

防ごう！減らそう！

鹿の交通事故

奈良公園周辺では、鹿に関連する交通事故が毎年約130件も発生しています。

道路看板の設置や交通事故防止を呼びかけるリーフレットの配布など広報活動に努めていますが、なかなか事故は減らないのが現状です。

奈良の鹿愛護会では、「鹿の飛び出し注意ステッカー」を作成・販売しています。



▲鹿の飛び出し注意ステッカー
(200円／税込・110mm×110mm)

このステッカーは、ご賛同いただける皆様の車やバイクなどに貼っていただき、より広く交通事故防止を呼びかけることを目的としています。また、「このステッカーは何？」という会話によって、交通事故で苦しんでいる鹿がたくさんいることを多くの皆様に知っていただくことができれば嬉しく思います。

ステッカーは、奈良の鹿愛護会事務所、奈良市総合観光案内所（JR奈良駅北隣、旧駅舎内）で販売中です。※通信販売も承ります。

（代金引換・送料・手数料別途）

広がる支援の輪！

ステッカー貼付協力

◆奈良市

奈良市の公用車の一部（99台）に、「鹿飛び出し注意のステッカー」を貼っていただけることになりました。

これは、奈良公園周辺で鹿の交通事故が多数発生していることをうけ、国の天然記念物である「奈良のシカ」を交通事故から守ることを目的とした奈良市の取り組みです。

奈良市の重要な課題の1つとして、今後も啓発に努めてまいります。



▲ステッカーを貼り付ける
奈良市の仲川げん市長
（画像提供：奈良市）

◆奈良交通㈱

奈良交通㈱では、会社所有の車両（路線バス・社用車）42台にステッカーを貼付して、鹿の愛護啓発を広く呼びかけてくださっています。

小さなステッカーですが、鹿を交通事故から守ろうという気持ち、皆様のご支援の輪が着実に大きく広がってきています。

鹿たちにとって安全で、安心して暮らすことのできる環境づくりにぜひご協力ください。

環境農園

しかちゃんファーム

平成30年度の新たな取り組みとして、「奈良のシカ」の保護施設「鹿苑」内に、「環境農園しかちゃんファーム」を開園しました。



▲「しかちゃんファーム」での
植え付け作業のようす

この農園では、鹿苑内に保護されている鹿たちのフンや食べ残したエサを原料にして作った堆肥「しかっぴ」を使っています。

作物の世話スタッフの他、鹿サポーターズクラブの皆様にもお手伝いいただき、コマツナ・チンゲンサイ・小カブ・モロヘイヤなどを収穫しました。

◆しかっぴ好評販売中

鹿が作った完熟堆肥「しかっぴ」は、奈良の鹿愛護会事務所販売しています。

※5キロ＝100円・10キロ＝200円（税込）
詳しくはお問い合わせください。

気軽に支援♪

「奈良のシカ」支援型
飲料自動販売機



▲鹿のロゴマークが目印です！

皆さんは、この写真のような鹿のロゴマークのついた自動販売機を見かけたことはありませんか？

これらは「奈良のシカ」支援型飲料自動販売機で、奈良市内を中心に38台（2018年8月現在）設置されています。

自販機設置者様と飲料メーカー様にご協力いただき、この自動販売機の売上の一部が「奈良のシカ」保護活動に充てられています。

また、一部のメーカーの自動販売機には、下の写真のような鹿のマークがあり、ボタンを押すと募金できる仕組みになっています。

奈良にしかないこの珍しい自動販売機で、どなたでも飲み物を買うついでに気軽に「奈良のシカ」支援に参加していただけます。
見かけられた際には、ぜひご協力をお願い致します。

研究員の歴史コラム

鹿と出会う歴史

今年も伝統行事「鹿の角きり」が開催されます。
そこで今回は、角きりで用いる道具についてご紹介します。

70代、80代の方に角きりのお話を伺うと、よく「ダンピ」の話を聞きます。

皆さんはダンピをご存じでしょうか。漢字では、「打破」と書きます。ダンピは、江戸時代から昭和の頃まで角きりのために用いられた道具です。

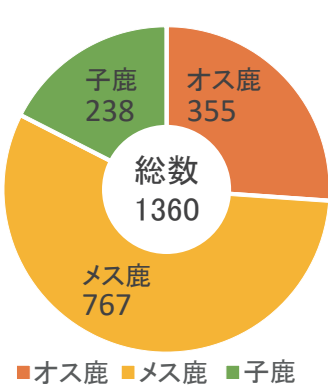
現在でも愛護会に残されており、全長約90cm、外側の枠は竹で製作されています。竹枠の外側と内側は、縄で結ばれています。



▲だんぴ

ダンピは次のように用いました。まず勢子が、鹿の角にダンピを引っかけます。ダンピをかけた鹿は、ダンピを外そうと角きり場内を動き回ります。そのうちに、鹿は横転します。横転したタイミングを見計らって、数人の勢子で鹿を筵（むしろ）に運んだそうです。

当時の様子を知ると、ダンピを用いた角きりは、鹿にとって大変な負担だったそうです。



Q…頭数はどうやって数えるの？

A…頭数調査は毎年7月15・16日に実施しています。

早朝5時からスタートし、若草山エリアを含めた13のコースから一斉に出発します。

奈良公園西側から東側へ徒歩で移動しながら鹿を目視でカウントしていきます。

各コース合図をしながら平行に移動し、オス鹿・メス鹿・子鹿に分類して数えます。

Q…オス鹿が叫ぶような大きな声で鳴くのはどんな時？

A…オス鹿たちがお互いの存在を確認すると同時に、自らのナワバリをアピールする時です。



Q…オス鹿にしか角は生えないの？

A…「奈良のシカ」（ニホンシカ）の場合、角が生えるのはオス鹿だけです。

しかし、シカ科で唯一オス鹿・メス鹿共に角が生える種類がいます。

それは「トナカイ」です。メスにも角が生える理由として、トナカイの生息する極北地方ではきびしい冬に雪を掘り起こして食料を確保するためと考えられています。



趣味はアウトドアです。
毎日、鹿たちから鹿のことを教えてもらっています！

【担当】事業課 河辺



趣味はスイーツと博物館巡り。
夢は、世界のニホンシカを見に行くことです。

【担当】臨時研究員 東城



▲鹿のジュースかな？と思ったら、募金ボタン！

また、自動販売機の設置にご協力いただける方がいらつやいましたらぜひ事務局までご一報ください。飲料メーカーの担当者の方をご紹介させていただきます。

- ・「協力飲料メーカー」順不同
- ・サントリービバレッジサービス㈱
- ・ダイドービバレッジサービス㈱
- ・アサヒ飲料販売㈱
- ・奈良ベンダー㈱
- ・コカ・コーラボトラーズジャパン㈱

ドンぐリのご支援、
引き続き募集中！

引き続き、皆さまからのドンぐリのご支援をお待ちしております。
ドンぐリは直接愛護会事務所までお持ちいただくか、宅配便等でお送りください。

長期保存できるように、**できるだけ乾燥させて**からいただけると助かります。



▲鹿苑の鹿たち、
喜んでます！

現在の角きりでは、鹿の身動きを抑えるために十字（じゅうじ）を用いています。



▲十字

もともと十字は、公園内で雄シカを捕獲する際に用いていました。

まず鹿せんべいを木の下に撒きます。そして、職員は木に登ります。

鹿せんべいを目当てにオス鹿が木の下にやってくるのを待ちます。

オス鹿がやってくると、樹上の職員が十字を鹿に落とします。

そして現在の角きりと同じように鹿の身動きを抑えて捕獲していたそうです。

現在は、十字を用いて鹿の安全に配慮しながら「鹿の角きり」を実施しています。

愛護会では鹿と勢子、両者にとって安全な方法を模索しながら、伝統行事である鹿の角きりの保存・継承に取り組んできました。

角きりに関わる鹿と勢子に思いを馳せながら、ぜひ年に一度の伝統行事「鹿の角きり」をご覧ください。